

- 1 国務大臣を任命する権利を持つ、内閣の首長は誰？
 ① 財務大臣 ② 外務大臣 ③ 内閣総理大臣 ④ 文部科学大臣
- 2 重大な刑事事件の裁判に一般市民が参加し、職業裁判官とともに有罪か無罪かなどを判断する制度の参加者を何という？
 ① 裁判員 ② 弁護士 ③ 検察官 ④ 裁判官
- 3 最高裁判所の下に置かれる、小規模な事件を迅速に処理するための裁判所を何という？
 ① 高等裁判所 ② 簡易裁判所 ③ 最高裁判所 ④ 地方裁判所
- 4 衆議院の解散に伴う総選挙が行われたあと、30日以内に召集される国会を何という？
 ① 参議院緊急集会 ② 臨時国会 ③ 通常国会 ④ 特別国会
- 5 国民審査が任命後初めて行われるタイミングは、どの選挙と同時か？
 ① 参議院議員通常選挙 ② 補欠選挙 ③ 地方選挙 ④ 衆議院議員総選挙
- 6 裁判官が職務にふさわしくない行為をした場合に、国会が設置して罷免するかどうかを判断する裁判を何という？
 ① 行政裁判 ② 刑事裁判 ③ 弾劾裁判 ④ 民事裁判
- 7 閣議を構成し、内閣の各部門の責任者として行政を担当する人たちを何という？
 ① 国家公務員 ② 地方公務員 ③ 国務大臣 ④ 特別職
- 8 日本国憲法で、国会は国の権力のなかでどのような機関と定められている？
 ① 行政の最高機関 ② 国権の最高機関 ③ 司法の最高機関 ④ 国民の最高指導機関
- 9 衆議院で可決され参議院で否決された法律案を、再び衆議院で成立させるために必要な賛成比率はどれくらいか？
 ① 3分の1 ② 3分の2 ③ 2分の1 ④ 4分の3
- 10 衆議院で可決された法律案を参議院が否決した場合、法律として成立させるために衆議院で必要とされる条件は何か？
 ① 出席議員の過半数 ② 総議員の過半数 ③ 総議員の3分の2以上 ④ 出席議員の3分の2以上
- 11 誤判を防ぎ、慎重な裁判を行うために、同じ事件を3回まで裁判できる仕組みを何という？
 ① 弾劾裁判 ② 参審制 ③ 陪審制 ④ 三審制
- 12 第二審の判決に不服がある場合、さらに上級の裁判所に裁判をやり直すよう求める手続きを何という？
 ① 抗告 ② 控訴 ③ 再審 ④ 上告
- 13 裁判官が職務上の義務に違反した場合に、国会議員によって構成される辞めさせるかどうかを判断する機関を何という？
 ① 最高裁判所 ② 高等裁判所 ③ 家庭裁判所 ④ 弾劾裁判所
- 14 民事裁判において、判決を下すのではなく、当事者同士が話し合って合意し、解決を図ることを何という？
 ① 上告 ② 告訴 ③ 判決 ④ 和解
- 15 控訴が受理された際、高等裁判所などで行われる二度目の裁判のことを何という？
 ① 上告審 ② 第一審 ③ 再審 ④ 控訴審
- 16 衆議院で可決されると、内閣は衆議院を解散するか総辞職しなければならない決議を何という？
 ① 予算案 ② 法律案 ③ 内閣不信任決議 ④ 決議案

